

薬連ハイライト

「本田あきこ副会長」九州ブロックを一巡！

本田あきこ副会長（日本薬剤師連盟組織内統一候補）全国訪問の旅は、4月3日より出身地の熊本県から始まった。5日には、山本会長・岩本幹事長が合流し、自由民主党熊本県連を訪問して、本連盟統一候補となったことを報告するとともにご支援を要請した。

薬局・医薬品卸売業各社等を訪問して、本田あきこ副会長自身の言葉と笑顔で薬剤師・従業員と握手して地域の声をお聞きする地道な活動が、関係者の心に名前を刻み、思いを伝える唯一の方法であることは本人が一番自覚していることでもある。

10日からは、佐賀県を訪問。医薬分業先進県であることもあって、適正な医薬分業とは何かという課題を議論しつつ薬局を訪問した。17日からは長崎県を訪問。医薬品の流通に関する意見を拝聴し、夜は講習会に参加して挨拶し、懇親を深めた。24日からは、鹿児島県を訪問。多くの講習会が開催されており、各会場において挨拶するとともに、医薬品卸売業を廻り、現場の声を聞き、迅速な医薬品供給のあり方について意見交換を行った。27日に訪問を終え、九州地区訪問の前半を締めくくった。5月15日からは、九州訪

問の後半を開始し、大分県を訪問。そして、22日からは福岡県へ。本田あきこ氏を囲む会が開催され、各地区で意見交換を行った。29日からは沖縄県を訪問。那覇・中部・北部・南部と薬局を中心に意見交換を行った。九州ブロック最終県は6月14、15日及び21、22日の2回に分けて訪問した宮崎県であった。

九州ブロック8県を一巡したが全国10ブロックはこれからだ。計画では、年末までに未だお伺いしていない都道府県薬剤師連盟へ、ご挨拶にお伺いすることとしている。



4月3日～6月22日まで、延日数30日間で最終日を迎えた。

もとゆき便り

骨太の方針2017

自由民主党総務副会長
参議院議員・薬剤師
藤井 もとゆき

政府は6月9日、「経済財政運営と改革の基本方針2017」いわゆる「骨太の方針2017」を閣議決定しました。

骨太の方針では、名目GDPは過去最高水準に達し、企業収益や雇用環境も大きく改善しているものの、将来不安から消費の伸び悩みや中間層の活力低下といった課題を抱えており、人的資本の質を高め、潜在成長力を引き上げていく必要があるとしています。こうしたことから「人材への投資を通じた生産性向上」を副題に掲げ、働き方改革を推進するとともに、投資やイノベーションの促進を図るとしています。

社会保障については、団塊の世代の全てが後期高齢者となる2025年度を見据え、データヘルスや予防等を通じて、国民のQOLを向上させるとともに、国民皆保険・皆年金を維持し次世代に引き渡すため、「経済・財政再生計画」に掲げられた44項目の改革を工程表に沿って着実に実行していくとしています。特に2018年度は、診療報酬と介護報酬の同時改定及び国民健康保険の都道府県単位の財政運営への移行など重

要な施策の節目の年であることから、都道府県の総合的なガバナンスを強化し、医療費・介護費の高齢化を上回る伸びを抑制しつつ、国民のニーズに適合した効果的なサービスを効率的に提供するとしています。

診療報酬の改定のあり方については、保険料の国民負担、物価・賃金動向、医療機関等の収入や経営状況及び保険財政等を踏まえて検討するとしています。また、薬価制度については、昨年12月の「薬価制度の抜本改革に向けた基本方針」に基づき、効能追加に伴う市場拡大への対応、毎年の薬価調査・薬価改定、新薬創出加算制度の抜本的見直し、費用対効果評価の本格的導入の検討等、「国民皆保険の持続性」と「イノベーションの推進」を両立し、国民負担の軽減と医療の質の向上を実現するとしています。これから年末に向けて、調剤報酬を含め中医協で詰めの議論がなされることとなりますが、公正な結論となるよう努めて参りたいと思います。

藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会（下記アドレス）までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@mfuji.jp